

2026年度



やればできる、やれば上がる。』

合格体験記

報徳学園進路指導部発行

はじめに

『合格体験記』発行に寄せて

校長 川口 直彦



時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。『合格体験記』の発行に際して、ご協力くださいました、すべての方に衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、昨年ノーベル生理学・医学賞に大阪大学の坂口志文特任教授が輝きました。免疫学における最重要課題のひとつである「免疫寛容」の問題に長年取り組み、「制御性 T 細胞」を発見されたことによる受賞でした。免疫とは、体内に侵入してきたウイルスや細菌などの外敵を排除する仕組みのことを言い、これが過剰に働くと、本来の働きをせずに自分の細胞の一部を外敵と間違えて攻撃し自己免疫疾患などを引き起こしてしまいます。その代表的な病気は、関節リウマチや1型糖尿病、バセドウ病、全身性エリテマトーデスなどが挙げられます。「制御性 T 細胞」はその異常な免疫反応を抑え、これら治療への応用が期待されています。しかし、当初学術界は免疫反応をどう活性化させるかが主流で、抑制的に働く細胞の存在には否定的な見方が強く懐疑的でした。それでも、「制御性 T 細胞」は人の病気までつながるのではないかと地道に研究を続け、免疫界の常識を塗り替えられました。ちなみに先生の座右の銘は“一つ一つ”だそうです。皆様は、坂口先生の偉業をどのように思われますか。私は、誰にも評価されなくとも自分の信念に従い、確かな一歩を着実に積み重ねてきたからこそ、この偉大な成果が生まれたのだと確信しています。私たちには到底真似できることではありませんが、坂口先生のどんな苦難にも屈しない精神は見習うべきです。

二宮尊徳翁の教えには、これからの社会を如何に人として歩むべきかが示されています。特に『二宮翁夜話』に次のような話があります。

翁曰はく、わが道は至誠と実行のみ。故に鳥獸・虫魚・草木にもみな及ぼすべし。いはんや人におけるをや。故に才智・弁舌を尊ばず。才智・弁舌は、人には説くべしといへども、鳥獸・草木を説くべからず、鳥獸は心あり。あるひは欺くべしといへども、草木をば欺くべからず。それわが道は至誠と実行となるが故に、米麦・蔬菜・瓜茄子にても、蘭菊にても、みなこれを繁榮せしむるなり。たとひ智謀孔明を欺き、弁舌蘇張を欺くといへども、弁舌を振って草木を榮えしむる事はできざるべし。故に才智弁舌を尊ばず。至誠と実行を尊ぶなり。古語に「至誠神の如し」と言ふといへども、「至誠はすなわち神」と言ふも不可なかるべきなり。およそ世の中は智あるも学あるも、至誠と実行とにあらざれば、事は成らぬものと知るべし。

報徳学園で学ぶ全ての生徒には、相手の価値観を尊重しつつ、グローバルな視野で活躍できる人材へと成長してもらいたいと願っています。同時に、誰かが何かをしてくれるのを待つのではなく、「自分がどうしたいのか、どうありたいのか」、そして、世のため、人のために、「自分なら何ができるのか、どのように貢献するのか」を主体的にしっかりと考え、真心を込めて実行に移す、文字通り尊徳翁の言葉「わが道は至誠と実行のみ」の実践を期待しています。

最後に、体験記を手にして頂いた皆様方のご健康とご多幸をお祈りしつつ、報徳学園の生徒たちを温かく見守って頂きたく存じます。

目次

進学先

渡邊 太翔 (西宮市立上甲子園中学校) <Ⅲ-10>	大阪大学 工学部	3
垣本 康佑 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-9>	大阪大学 外国語学部	3
井ノ上 輝 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	北海道大学 総合理系入試学部	4
要津 優太 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	東京農工大学 知能情報学部	5
久保 柊太 (西宮市立学文中学校) <Ⅲ-10>	京都工芸繊維大学 応用生物学部	6
岩倉 快青 (西宮市立真砂中学校) <Ⅲ-10>	広島大学 情報科学学部	6
西村 忠親 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	広島大学 医学部保健学科学部	6
渡辺 翔太 (西宮市立学文中学校) <Ⅲ-10>	広島大学 工学部	7
新保 裕隆 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-6>	大阪教育大学 教育学部	7
野中 晴輝 (伊丹市立天王寺川中学校) <Ⅲ-8>	大阪教育大学 教育学部	8
加藤 慧真 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	徳島大学 理工学部	8
富田 諒 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-9>	高知大学 地域協働学部	9
中村 真太郎 (西宮市立大社中学校) <Ⅲ-10>	兵庫県立大学 経済学部	9
吉岡 俊磨 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-7>	兵庫県立大学 環境人間学部	9
宮岸 鷹輝 (西宮市立上ヶ原中学校) <Ⅲ-9>	釧路公立大学 経済学部	10
道本 耀太 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-9>	青森公立大学 経営経済学部	10
上本 慎悟 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-10>	秋田県立大学 システム科学学部	10
井藤 悠介 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-7>	防衛大学校 理工学部	11
三浦 照矢 (岡山市立京山中学校) <Ⅲ-6>	早稲田大学 人間科学学部	11
岡田 壮真 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-3>	立教大学 スポーツウェルネス部	12
平賀 快 (神戸市立向洋中学校) <Ⅲ-9>	立教大学 現代心理学部	12
久米 甚一郎 (宝塚市立安倉中学校) <Ⅲ-4>	関西学院大学 法学部	13
西 倫平 (西宮市立甲陵中学校) <Ⅲ-5>	関西学院大学 文学部	13
足立 尚樹 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-6>	関西学院大学 総合政策学部	13
酒井 優多 (西宮市立今津中学校) <Ⅲ-8>	同志社大学 商学部	14
前場 健太郎 (西宮市立甲武中学校) <Ⅲ-5>	近畿大学 総合社会学部	14
生田 悠陽 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-7>	近畿大学 生物理工学部	15
枝川 真大 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-7>	近畿大学 情報学部	15
谷出 敦紀 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-8>	近畿大学 看護学部	15
吉田 安里 (宝塚市立宝塚第一中学校) <Ⅲ-3>	龍谷大学 経済学部	16
島貫 泰地 (神戸市立原田中学校) <Ⅲ-2>	神戸学院大学 現代社会学部	16
石川 隼人 (西宮市立浜脇中学校) <Ⅲ-4>	神戸学院大学 経営学部	17
高木 寧朗 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-7>	大阪工業大学 工学部	17
山本 結之輔 (堺市立金岡中学校) <Ⅲ-9>	関西外国語大学 英語キャリア学部	18
山中 峻哉 (私立報徳学園中学校) <Ⅲ-2>	大和大学 教育学部	18

合格体験記

備考	特Ⅱコース…高2からⅡ進コース+選抜特進コースで編成
	特Ⅰコース…高2からⅠ進コース+特進コースで編成

大阪大学

特Ⅱコース
数学研究部・社会科学研究部
西宮市立上甲子園中学校出身

Ⅲ-10 渡邊 太翔



この春、念願だった大阪大学工学部に合格することができました。自分の3年間を振り返りながら、少しでも皆さんの役に立つアドバイスを伝えたいと思います。

まず思い出についてですが、一番心に残っているのは「六甲強歩」です。本当につらかったですが、友人と励まし合いながら完走した経験は大きな自信になりました。高3の夏以降、生活のすべてを勉強に捧げる中でしんどい時期もありましたが、「あの険しい道のりを歩ききれたんだから大丈夫」と何度も自分を奮い立たせていました。学校で友人と過ごす何気ない時間も、受験期の最高のリフレッシュになりました。

進路については、入学当初から「工学部で学びたい」という思いがありました。数学や物理を解くのが純粋に楽しかったのがありますが、何より「どうしても阪大に行きたい」という強い憧れがありました。高1の夏に阪大を目指すことと決めてからは、どれだけ壁が高くても志望校を下げることは一度も考えず、一番行きたい場所へ向かって最後まで突き進みました。

勉強について数学は、ただ解法を暗記するのではなく、数学の本質を突くような鮮やかな解説に触れ、「数学ってこんなに面白いんだ」と改めて感動したのを覚えています。それからは、授業で扱った問題をその日のうちに必ず解き直し、「なぜこの発想になるのか」を自分なりに言語化して、解法の引き出しを増やすことを何より大切にしました。苦手な英語や国語は、短時間でも毎日触れるようにし、平日は5時間、休日は7時間を一つの目安として、淡々と継続することを意識していました。

最後に入試の攻略ですが、数学は「標準問題を確実に解ききる」ことが合格への最短ルートです。難問に時間を使いすぎず、取るべき場所を絶対に取りこぼさないください。英語は添削を活用して自分の弱点を把握すること、理科は公式の暗記だけでなく「なぜそうなるか」を理解することが、本番での得点力に繋がります。

受験は、六甲強歩と同じで「最後は自分を信じて一歩ずつ積み続けられるか」にかかっています。正しい努力を積み重ねれば、力は必ずついてきます。憧れの場所を目指して、最後までやり切ってください。心から応援しています！



大阪大学

特Ⅰコース
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-9 垣本 康佑



・学校生活

報徳学園の6年間では、良い友人と出会い、多くの人に支えられながら成長することができました。男子校ならではの雰囲気の中で楽しい日々を過ごしなが、先生方の指導のおかげで徐々に勉強にも向き合えるようになりました。

・進路

僕が本格的に受験勉強を始めたのは高校3年の夏で、決して早いスタートではありませんでした。そのため、もっと早くから勉強に取り組んでいればよかったと強く後悔しています。

一方で、努力している友人との再会をきっかけに勉強に向き合うようになりました。周りの環境によってやる気が大きく変わることを実感しました。

だからこそ、できるだけ早く勉強を始め、すでに努力している人の周りになることが大切だと思います。

・勉強方法

勉強では得意科目を伸ばすことを意識しました。特に英語は、文法問題だけに偏らず、早い段階から英文解釈や長文読解に取り組むようにしました。

また、周りで努力している人と同じ環境で勉強することで自然とやる気が高まり、継続することができました。最初は苦しかった勉強も、理解が深まるにつれて次第に楽しいと感じられるようになったことが大きな成長につながったと思います。

・入試の攻略

今の大学入試では時間が足りなくなることが多いと思います。そこで、時間配分をあらかじめ決め、本番と同じ時間で解くことに加えて、制限時間の約0.8～0.9倍で解く練習もおすすめします。これにより、本番で時間に余裕を持って解く感覚を身につけることができました。

僕は共通テスト模試ではE判定しか取ったことがありませんでしたが、それでも合格することができました。本番でも手応えが良いとは言えませんが、最後まで諦めずにやり切ることを意識しました。すべてを完璧にするのではなく、得意科目でしっかり得点することが合格につながったと感じています。

結果が思うようにななくても、これまで努力してきた自分を信じて最後までやり抜くことが大切です。

・最後に

受験勉強は早く始めるほど有利です。僕自身、スタートが遅れたことを強く後悔しています。学校生活を楽しみながらでもいいので、コンスタントに勉強を続けてください。

多くの人は「早く始めた方がいい」と分かっているても行動に移せず遅れてしまいます。いかに早く受験勉強に取りかかれるかが、合否を大きく左右すると思います。難関大

学現役で合格している人を見ると、高校1年生や2年生の頃からコツコツ勉強している人が多いように感じます。

現役生の皆さんには、僕の果たせなかった現役合格を掴み取ってほしいです。

応援しています。

【やってよかったこと】

- ・本命校の過去問を20年分、併願校は3年分以上解く（国公立二次試験や私大個別試験は傾向が長年同じである場合があるため、特に過去問が大事）
- ・自由英作文の解答例や英語長文の音読（前者は自由英作文の型が身につく、後者は速読ができるようになる）
- ・和文英訳は使える表現をノートにまとめる（AはBにおいて重要な役割を果たしている → A plays a significant role in B など）
- ・次の日やるべきことを前日に紙に書く
- ・単語帳は毎日継続する（1日100単語がおすすめ）
- ・大学合格後にしたいことを考えておく
- ・適度に運動する

【やらないほうがよかったこと】

- ・夜遅くまで勉強
- ・映像授業の倍速視聴
- ・音楽や動画を流しながらの勉強
- ・スマホを定期的に触る
- ・同じ単元や好きな単元ばかりやる
- ・基礎を疎かにする
- ・計画を細かく立てすぎる
- ・復習せず新しいことをする
- ・綺麗にノートにまとめるが、その後それを見ない
- ・誰にも質問せず放置
- ・苦手な単元や科目を放置
- ・自分のレベルに合わない難しい問題を解く
- ・遊びすぎる
- ・定期テストの一夜漬け

【良かった参考書など】

- ・スタディサプリ 関正生先生の英文法
- ・スタディサプリ 岡本梨奈先生の古典文法
- ・ターゲット1900
- ・英熟語最前線1515
- ・英文熟考（上・下）
- ・The Rules / 記述式トレーニング / 英文読解の着眼点
- ・原田健作『自由英作文が面白いほど書ける本』
- ・上級現代文I



北海道大学

特IIコース
社会科学研究部
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-10 井ノ上輝



こんにちは。北海道大学総合理系物理重点に合格しました井ノ上輝です。報徳学園での6年間の思い出や勉強などについて書きます。

1. 楽しかった思い出

僕は中学入学から卒業までの計6年間II進コースに所属し、クラス替えが無く過ごしました。そのためクラスメイトとは特別な仲間のような感覚がありました。一番記憶に残っているのはフィリピン語学研修です。自分の価値観が変わるような出来事でした。食文化や生活環境が日本とは違ったので、とても新鮮でした。ほかには、中学時代ですが電車で近畿を一周したりしたのは記憶に残っています。また、ラグビー部でのNZ遠征や大会に帯同した福岡遠征は自分の高校生活を語る上で部活のメンバーと絆を深めるイベントでした。地区大会ですが公式戦に出たことは非常に貴重な経験となりました。部員とは、部活がない日に遊びに行ったり、雨の中バスケットをしたりしたのはとても面白かったです。

2. 勉強方法

僕が本格的に受験勉強に取り組み始めたのは、部活を辞めた高校二年生の秋です。駿台西宮北口校で夜まで自習をしていました。長期休暇では8時に学校に来て駿台が開くまで金次郎studioで勉強し、駿台で夜まで勉強の繰り返しでした。平日の勉強時間は4時間ほど、休日も4.5時間だったと思います。長期休暇は10時間前後勉強していました。進度は高2の冬に青チャートII Bを終わらせて、春に青チャートIII Cを始めました。青チャートII Bの積分・微分は、III Cで嫌ほどさせられるのでやりこむ必要はありません。現役なら、Cの理解度が低いので早めに対策をおさしましょう。化学はできるだけ基礎知識を勉強しましょう。国公立二次試験は旧帝上位レベルの大学以外は知識問題がほとんどです。実際北海道大学もほぼ知識問題でした。無機化学の知識は深ければ深いほど良いので早めに暗記するのが良いと思います。スマホアプリに有料の有機化学の物と無料の無機化学の物があるのでぜひ使ってみてください。物理は単元の本質を理解しました。とりあえず図示をしまくって本質を理解した問題を増やしましょう。共通テストで使った教科（国語・地理）は大体を駿台の講習で完成させました。特に国語の古文は駿台の二宮先生の授業を必ず受けてください。古文は全く点数が取れなかったのに、先生のおかげで古文は1ミスでした。地理は岡田先生というおじいさん講師のおかげで非常に安定して高得点をとれました。それぞれに言えるのは、地理においては基本知識、古文では古文単語は覚えている前提です。現代文は夏季休暇の期間を利用して『現代文のアクセス最後』という参考書を毎日1題解きました。コツは解説の通りに問題を解くことです。英語は文法分野ではVINTAGEを誇張なしに5周以上はしました。英訳はポレポレをしましたがあまり記憶がありません。国語の古文にも当てはまりますが、正直単語ゲーです。僕は鉄壁を使用しました。単語量がものすごく多いのですべてを覚えきれずに受験を終えましたが、良い単語帳だったと感じています。そして英語は触れている

時間の量で成績が伸びます。おすすめは一日1つ長文問題を解くことです。長文はしんどいにしても必ず授業以外で英語に触れるようにしてください。勉強するときの注意は【すぐに答えを見ない・考えすぎない・解決は自分で・できなくて当たり前的心構え】です。

模試では記述でも自己採点はしたほうが良いと受験が終わって後悔しました。なぜなら自分の体感の成績と実際の成績が乖離していると、自分の学力を過大評価してしまったりするからです。

3. 後輩へのメッセージ

ここまでいろんなことを書いてきましたが、受験はどこまで行っても自分との戦いだと思えます。他人のアドバイスも自分に取り入れて行動するのは自分自身です。自分との戦いの中で頑張る目的だとか、自分のがんばる触媒役として友達がいると思えます。受験は自分のことがよくわかるイベントだと思います。例えば、僕は受験を通して全力を注げるのは一つのことだけ、努力があまり得意ではない等いろいろと自分の特性がわかったような気がします。言ってみれば、受験とは修行です。

東京農工大学

特Ⅱコース
少林寺拳法部・数学研究部
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-10 要津 優太



① 6年間の思い出

私は6年間の学校生活を報徳学園で送りました。クラスや部活動の友人は皆個性に溢れ面白く、彼らと過ごした日々はとても楽しかったです。

② 進路を決めたきっかけ

私はもともと医学系に興味がありましたが、高校1年生の授業で生物より物理の方が面白いと感じて次第に工学へ憧れるようになりました。(最近では、工学と医学の両方を学べるところも増えてきています。選択肢の1つとして考えてみてください。)そこでせっかくなら理工学系のトップを目指そうと思志望校を決めました。

③ 勉強方法、時間の使い方

勉強時間は自分が好きなようにするのが一番です。よく入試期にSNSで、落ちる人の特徴5選みたいな動画が出回りますが、受験生の不安を煽って視聴回数をとりたいだけなので、お気になさらず。朝型の人には早起きして、夜型の人には昼寝してからとか、本当に好きなような勉強するのがいいと思います。質は大事なので。あと、適度な運動はおすすめです。

【数学】

色んな問題に触れましょう。そして、じっくり考えましょう。あと計算力は非常に重要です。演習が大事だと思うので、記述模試や冠模試なども積極的に受けましょう。

【英語】

文法、単語が最重要です。長文って結局、単語の集まりなので。単語は色々な意味を覚えましょう。あと日本語では同じような意味でも英語では違うニュアンスのものがたくさんあります。そこさえ押さえれば英作文も完璧です。ちなみに最後は国語力です。きちんと文法、単語を押さえたあとに色々な文章読んでたら共テ英語は屁でもありません。共テリスニングは単語や文法はもちろん、1日10分くらいのリスニングと演習と先読みの練習してたら大丈夫です。

【化学】

理論化学は一度理解してしまえばあんまり忘れるとは思わないと思うので、一番最初に固めちゃいましょう。これを飛ばして焦って早めに無機や有機に進んでもいいことはないです。直前期にどうせ詰め込むので。理論化学はリードaがおすすめです。無機や有機は最初に人気の参考書使って濃淡つけてから教科書で漏れをなくするのが自分的にはよかったです。共テ化学は二次試験の勉強してたら大丈夫ですが、少しは演習しときましょう。

【物理】

一問一問丁寧に噛み砕きましょう。典型問題の網羅を最優先にしましょう。問題の日本語をどう物理条件に落とし込むかは常に考えましょう。あと、答えが出たら次元チェックは怠らせずに。ちなみに結局大事なものは力学です。共テ物理は二次対策をやったもん勝ちな気がします。今年の傾向が続くなら尚更。浅い演習をたくさん踏むより、深い理解や再現力を大事にしてください。

④ 受験期

結果から言うと、私は前期の東京科学大学に落ちました。そして、後期の東京農工大学に合格しました。正直、前期に落ちたショックで後期が終わるまであまり勉強ができませんでした。過去問を毎日ちよろっと解くぐらいでした。みんな人間なので前期の結果が出た後はすぐ立ち直るなんて正直無理です。しかし、そこでちょっとでも踏ん張ることは本当に大事だと思います。この期間は本当にしんどいですが諦めないでほしいです。

⑤ 東京科学大の対策について

落ちてるので説得力あまりないですが、もし目指す人がいれば多少なりともお役に立てれば。

【数学】

180分で大問が5個で、全部解ける必要なんて全くないので解ける問題をきっちりと完答できることが大事です。(過去問20年分のB問題までは完答できることは必須です。)基礎ができたら問題演習に移りましょう。問題を解くときに実験や試行錯誤してください。自分の頭を使って頑張って答案をきちんと書ききりましょう。誘導にどう乗るかを考えるのも大切です。B問題までは完答できるようにして、C・D問題は半分くらい手が出るくらいに仕上げとけば十分だと思います。よっぽど難化しない限り。直前期は過去問で演習しましょう。2問で120分のセット演習が個人的にはおすすめです。

【物理】

個人的には問題演習は良問の風→名問の森をやっとけば十分だと思います。(名問の森は好みが分かれるので本屋で読んでみてください。)あとは定義を大事に。学校で重要問題集が配られると思います。僕はどちらも好きですが、名問の森の方がおすすめです。

【化学】

授業では無機や有機にどんどん進んでいきますが、最初は本当に理論化学を徹底してください。本番の安定感に繋がります。無機は暗記です。福間の無機化学という参考書がおすすめです。有機化学は暗記系は教科書、構造決定は過去問がおすすめです。時間があれば新演習もいいかも。ちなみに、知識系では新研究は不要です。科学大の化学は共テと相関がある程度あるので、共テでしっかりとしていれば安心ですよ。

【英語】

分量がとても多いですが、さらに正確に読めているかも問われます。しかし、やはり大事にしてほしいのは単語と

文法です。和訳、英作問題もありますので。また、長文を読むときに段落ごとに要旨を10文字程度で作る癖をつけてほしいです。内容一致問題で効いてきます。

⑥ さいごに

不安な時期もあると思いますが、それは挑戦している証拠です。充実した受験生活を是非送ってください！

京都工芸繊維大学

特Ⅱコース
西宮市立学文中学校出身
Ⅲ-10 久保 柁太



1. 三年間の思い出

私は高校から報徳学園に入学しました。初めは勉強や周りの環境に不安を感じていましたが、実際に入ってみると、みんな気さくでとてもなじみやすい雰囲気とその不安はすぐに消えました。休み時間にはクラスの人々と教室で話したり、昼休みに毎日グラウンドでサッカーをしたりと、充実した日々を過ごすことができました。

また、学園祭では何をするのか、どのように進めるのかで意見がぶつかることもありましたが、最終的には団結することができ成功することができたので、良い思い出になりました。

2. 進路について

私は中学生のときの習い事の先生の影響で脳科学に興味を持ち初めてそれについて大学で学びたいと思い、学部を探し始めました。

3. 勉強法など

私は高校3年の夏休みまで金次郎スタジオで勉強していてそれ以降は塾と金次郎スタジオの両方を活用し勉強していました。高校1年、2年は数学と英語、得意だった化学をさらに伸ばそうと勉強していました。高校2年までは日曜日以外は毎日勉強をしていて、高校3年からは日曜日も毎日勉強していました。

4. 入試の攻略法

焦らずに基礎からコツコツ勉強すれば少しずつでも学力はついてくると思います。応援しています！

広島大学

特Ⅱコース
西宮市立真砂中学校出身
Ⅲ-10 岩倉 快青



僕は高校から報徳学園選抜特進コースに入学しました。最初は男子校に不安を感じながらなんとなく学校生活を過ごしていました。しかし、10人しかいないクラスで徐々に報徳学園の楽しさに気付くことができ、学校生活を楽しくするようになりました。

3年間の高校生活での1番の思い出はと聞かれると1つには決めることはできません。六甲強歩大会、グアムへ行った修学旅行、学習合宿、どれも楽しすぎました。学校行事も楽しかったのですが個人的には休み時間にサッカーをしたり、授業中にkahootをしたりと日々の生活もすごく楽しかったです。僕は高一の時にアルバカーキアカデミーへ留学へ行きました。そこで、海外の人と関わることの楽し

さ、日本と違う海外の制度に惹かれ、国際系の学部へ行きたいと思い、神戸大学国際人間科学部を志望校に決めました。志望校を決めたものの、高一から高2の夏までは全く勉強しておらず、学校の定期テストでさえ赤点を取るほどでした。正直なんちゃって神戸大志望でした。

しかし、高2の文化祭が終わったところからこのままではさすがにやばいと思い、受験勉強を始めました。苦手を潰すように意識して苦手なことに対する学習を重点的にやりました。

受験勉強について、文系の人は早めに歴史を勉強し始めた方がいいです。そうして正直受験は考えすぎない方がいいです。あんまり張り詰めちゃうとかえって良くないです。4月から受験生の人は後悔がない受験期を過ごしてください。そして仲間との時間を大切に、お世話になった先生方、支えてくれる家族友人達に感謝を忘れずに。応援しています。

広島大学

特Ⅱコース
弓道部・数学研究部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ-10 西村 忠親



1. 6年間の思い出

私は中高6年間報徳学園で学校生活に部活動に楽しい毎日でした。特に受験期の高3の学校行事は本当に楽しかったです。中学時代はI進コースに所属していましたが中3の時担任の先生や家族からの勧めを受け、II進コースへ転コースしました。最初は不安もありましたが、勉強面でも先生方の手厚いサポートもあり安心して学習に取り組むことができました。その中で英語ディベート大会や海外研修などにも積極的に参加し自分の視野を広げるとともに充実した学校生活を送っていました。

2. 各教科の勉強法

【国語】

高3になってから毎週日曜日は現代文の演習をしていました。古文は単語や文法などをしっかりと覚え学校の授業をきちんと受けるべきです。漢文は高3の秋くらいから「漢文早覚え速答法 共通テスト版」をやり十分対応できました。

【数学】

高3の11月までは青チャートと塾のテキストで2次試験の勉強を中心に12月からは共通テストの勉強を中心に行いました。

【英語】

単語は高1の間で1冊は完璧に覚えこむべきだと思います。ある程度単語を覚えて電車の時間を利用し英熟語や英文法をはじめました。その後長文で演習し、詰まった際は文法書などで確認していました。英作文は共通テストまで学校の授業や塾の授業だけで行い共通テストが終わってから「1か月集中! 英作文 速効トレーニング」で本格的に勉強を始めました。(覚えることが多いので夏休みに一周はすることをおすすめします。)

【化学】

高2の秋くらいまではリードaを中心に勉強をしていました。高2の12月頃からは重要問題集のA問題や苦手な単元はスタサプを用いて勉強していました。無機有機の暗記には「橋爪のゼロから劇的にわかる無機・有機化学の授業」を何度も何度も読み込んでいました。(←スタサプを

使って参考書載っていない内容や問題演習で得た情報を書き込んでいました。)

【物理】

物理は自分にとってかなり苦手の教科でしたが最低限化学と同じように問題集(良問の風)とスタサプを使って共通テストでは対応できました。

【地理】

共通テストの勉強を通して共通テスト地理は知識をただ暗記するのではなく何がどこで生産されているのか、また代表的な地形がどこなのか地図上で答えられることがとても大事だと思いました。僕は高3の4月から学校の授業での問題演習と並行して参考書を読み進め、12月からは共通テスト形式の問題演習に取り組んでいました。また問題を解いた後は、身につけていない知識を参考書にもどって知識を補充していました。(使っていた参考書がもう絶版なので「大学受験新標準講義 地理総合・地理探究」がおすすめです。)

【情報】

「藤原進之介のゼロから始める情報Ⅰ」を何周も読んで12月くらいから共通テスト問題集で演習しました。

3. 入試の攻略法

共通テストについてはどれだけ共通テスト系の問題を解いてきちんと直しをしたかに尽きると思います。私は直前期には特に英語リーディングとリスニングは毎日やりました。

4. 最後に

成績が思うように伸びずしんどいと感じたりすることもあると思います。それは受験生みんな一緒だと思います。正直自分も思うように伸びず11月の模試や直前の模試の結果を見ても到底広島大学に届くような点数ではなかったです。ですが毎日諦めることなく最後までやり切ることが大事だと思います。そうすることでいつか必ず実力もついてきます。“諦めない”という気持ちを持って、個々の目標や夢などに向かって努力し続ける報徳生を心より応援しています。

頑張ってください！！

広島大学

特Ⅱコース
数学研究部
西宮市立学文中学校出身

Ⅲ-10 渡辺 翔太



私は幼い頃から抱き続けてきた「建築の道に進む」という夢を叶えるため、広島大学工学部に進学することを決めました。高校入学時にはすでに志望学部を固めていましたが、実際に受験を終えて痛感したのは、「受験は情報戦である」ということです。

志望する学科がどの科目を必要とし、どのような試験形式を採用しているのか。自分の努力を最大限に活かすためには、ただ机に向かうだけでなく、徹底的に「調べる」ことが不可欠です。私自身も大学の点数の比率を調べて地理と国語に比重を置いて勉強できました。

文系科目である地理や国語は理系だからと後回しにしがちですが、3年生になってからは時間が足りません。早めの対策が合格への鍵を握ります。

数学は丸暗記ではなく「理屈」を理解し、復習を徹底してください。特に河合模試などの模試で間違えた問題は、

自力で解けるまで解き直すことが一番の近道です。

化学は基礎が崩れるとすべてが崩れます。まずは「化学基礎」を完璧にすることが、最大のスタートダッシュになります。

物理は常に図を書き、公式の本質的な意味を理解することが必須です。授業の解説を一言も漏らさず聞く姿勢が大切です。

そして全科目に共通して言えるのは、「今している勉強が、本当に点数に結びつくのか」を常に自問自答することです。がむしゃらに量をこなすだけでなく、自分の能力を伸ばすための「質」を意識した勉強を心がけてください。

共通テスト後、自己採点の結果を見て志望校を下げるか迷う時が来るかもしれません。しかし、結果がどうあれ、自分を信じて最後まで突き進んだ方が後悔は少ないはずですよ。

実は、私は最後の最後で自分を信じ切ることができず、葛藤しました。だからこそ、皆さんには伝えたいです。「今まで積み上げてきた自分を、最後まで信じ抜いてほしい」。その強い意志が、合格への最後のひと押しになります。応援しています。

大阪教育大学

特Ⅰコース
ハンドボール部
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-6 新保 裕隆



高校3年間で最も印象に残っているのは、部活動と受験勉強を両立したこと。部活動では仲間と目標に向かって努力する経験ができ、最後までやり切ったことは自信につながりました。また、学校生活では友人と励まし合いながら勉強を続けたことで、自分のモチベーションが低い時も乗り越えることができました。私生活では、部活終わりや学校終わりに毎日塾に行くことを目標としていました。思うように成績が伸びない時期もありましたが、先生や家族の支えもあり、最後まであきらめずに勉強を続けることができました。この3年間で、努力を継続することの大切さを学びました。

私が大阪教育大学を志望した理由は、少し教師に興味を持っていたのはもちろんだが、一番の理由は大阪教育大学でハンドボールをしたいと思ったことです。私は何度か大学の練習に行かさせていただいたりしており大阪教育大学で練習した時や試合を見た時に大阪教育大学でハンドボールをしたいと思ったからです。

受験勉強では、基礎を固めることを意識して勉強しました。基礎的な参考書を完璧になるまで期限を決め取り組んだことが一番成績アップにつながったと思います。勉強時間では、その日ごとの自分のできるマックスの時間をやり切るようにしていました。学校が終わったらすぐに塾に行くことだったり、休日では午前中から塾が開くのでその時間からできるだけ最後までいるようにしていました。

入試の攻略方法は、自分ではできるだけ自分の有利な範囲に勝負を持っていくことが大切だと思っています。私は2つ受験をし、京都産業大学に総合型選抜で合格し、一般で大阪教育大学に合格しました。私は理系科目を得意と



していました。京都産業大学では、筆記試験と成績と面接があり筆記試験では物理と数学からの出題でした。大阪教育大学では、共通テストの2次試験がありました。2次試験は物理のみでした。また、難しい問題ばかりに取り組むのではなく、基本問題を確実に解けるようにすることが大切だと思います。過去問を解くことで出題傾向に慣れ、本番でも落ち着いて解けるようになりました。

大阪教育大学

特Iコース
体操競技部
伊丹市立天王寺川中学校出身

Ⅲ-8 野中 晴輝



私は大阪教育大学 教員養成課程家政教育コースに合格しました。大教大を志望したのは高校1年生の冬頃で、早めに目標を持つことの大切さを感じました。僕の場合は、一人暮らしがしたいから国公立に絞ったこと、今までしていた体操競技を続けたかったこと、お世話になったコーチに大教大出身の方が多かったことなどから志望しました。もしこのように絞れない場合でも、「関関同立以上や国公立に行きたい」といった自分なりのイメージを大事にして目標を立てることが重要だと思います。

実際に自分の受験を振り返ると、成績は決して良いものではありませんでした。11月の進研模試では1000点中477点を取り、判定はEでした。それまでの模試でも5割を超えたことはほとんどなく、自分でも不相应だと感じていましたが、直前まで勉強を続けた結果、共通テストでは630点を取ることができました。ここからは、そのときに意識していた共通テストの勉強について書きます。

国語は古文単語や漢文句形をふんわりとでもいいので覚え、形式に慣れることが大切です。現代文は対策というよりも、本番で頭が真っ白にならないように落ち着くことが重要だと思います。

社会は日本史、政治経済ともに、名前を完璧に覚えるというより流れを掴むことを意識しました。共通テストでは時代背景やテーマ史が多く出るので、出来事を軸に肉付けして覚えるのが効率的だと思います。

英語は苦手だったので、単語帳のレベルを下げて確実に覚えることを優先しました。また、易しい長文をとにかく読むことで読むスピードを上げました。結局は量が大事だと感じました。

数学は苦手科目でしたが、IIBは公式を理解し、自分で説明できるようにすることである程度点を取ることができました。

理科基礎や情報は、毎年似た分野が出るため、基本事項を押さえることが得点につながると思います。

僕は勉強を本格的に始めたのが遅く、夏休み後からで、本気で頑張り始めたのは11月後半からでした。そこからは共通テストの科目の優先順位を決め、効率よく勉強することを意識しました。また、自由登校が始まると先生方が職員室にいらっしゃることが多いので、質問をしまくって教えてもらうことが一番の近道だと思います。

最後に一つ、試験当日は時間の確認を徹底してください。僕は一度、試験時間を勘違いして受験できなかった経験があります。どれだけ準備しても、基本的なところで失敗すると本当にもったいないので、最後まで気を抜かず頑張ってください！

徳島大学

特IIコース
ハンドボール部
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-10 加藤 慧真



私は中学から報徳学園に入学し、中学時代はサッカー部に所属していました。中学に入ったころ私は勉強ができるほうではなくどちらかというとサッカーだらけの日々でした。中3のころ高校サッカー部に入る予定はなかったので、最後の試合が終わるころから勉強にシフトチェンジしました。相当勉強していなかったのか、やればやるほど順位は上がっていき、もう一人のサッカー部の子と1位、2位を争うようになっていました。高校に入り、神戸大にあこがれを薄々感じながらもハンドボール部で新しい友達もでき、たくさん遊びました。半分過ぎたあたりから塾に入ったものの、部活後にいって授業を寝てしまうという生活が続いていました。2年生になり、II進コースに入り、環境が変わり受験を少しずつ意識し始めていたと思います。共通テスト同日受験では最大で200点上がると言われていながら受けに行きました。結果は473点。正直550点くらいをとってそこから150点のびて本番700点とれたらなと思っていたので、絶望でした「あと一年で約300点あげるのか…」と。3年4月、ここではじめて徳島大学のオープンキャンパスに行きました。12月くらいまでは特に後期試験については考えておらず、前期の神戸大学しか考えていませんでした。進路を決めたのは本当に最後の共通テストが終わり自分の点数でリサーチした後でした。私は一人暮らしはあまり希望ではなかったのですがバスで2時間くらいならいいと思いました。

使った教材、すべて塾の教材を含みます

[数学]

青チャートI・A
基礎問題精講

[理科]

物理 リードa、良問の風
化学 重要問題集（辞書代わりに福間の無機化学、鎌田の有機化学）

[国語]

学校での教材

[社会]

学校の教材、ココミライチャンネル

[英語]

長文解釈

[後輩へのメッセージ]

大勢の人から聞いていると思いますが、「共通テストの対策をしっかりすること」、「最後まであきらめない!!」ということをやりたいと思います。実際、共通テストで取れないと第一志望どうこう言う前に、出願すら怪しくなってきます。なので、「2次でとればいいや〜」などと、共通テストを甘く見てはいけません。そして、たとえ前期がだめでも後期までしっかり受けに行くことが大切だと思います。後期試験にいけば選択肢はまだ広げることができます。しかし、いかなければ選択肢は狭まってしまいます。最後の最後まで自分の選択肢を広げるためと思って後期試験も受けに行っていきたいです!!

高知大学

特Iコース
硬式野球部
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-9 富田 諒



6年間の学園生活を通して思ったことは、報徳学園でよかったということです。思い出はたくさんありますが、抜粋するならば、高校2、3年生の文化祭で漫才を行ったことです。ネタも一から自分で考えたため、大勢の人前で笑いをとれるかが本当にヒリヒリして楽しかったです。みなさんもやりたいことがあれば報徳学園は志をもつ人には寛容な学校です。思い切ってチャレンジしてみるのもありかもしれません。後悔のないように青春を感じてください。

ここからは勉強の話をしようと思います。私が肌で感じたのは、「もっと早くやっとならばよかった」です。ありきたりですが、本当にこれに尽きます。3年生よりも2年生、2年生よりも1年生と、早く始めれば始めるほど合格に近づくと感じました。私は8月頃から本格的に始めましたが、暗記科目に手が回らず、最後まで苦手意識を払拭することができずに本番を迎えてしまいました。後悔です。あともうひとつ伝えておきたいことは、共通テストに本気で向き合うことの重要性です。私は私立文系の3科目しか勉強しておらず、共通テストは重要視していませんでした。しかし1週間前に、私立の共通テスト利用が意外と現実的な点数であることと、漢文が簡単な割に配点が高いことがわかり、1週間で詰め込みました。そうすると本番で痛手にならずに済みました。そんなことは理解しているという人はそのまま頑張ってください。数ある受験生活の思い出の中で、一番後悔しているのは、第一志望のオープンキャンパスに行っていないことです。これは正直論外です。行っていない人は早く行きましょうYouTubeを見ている暇はありません。TikTokもダメです。私はめんどくさがり屋なので、行きませんでした。自分が行きたい学校のその場の空気を吸っておかないと、モチベーションにつながりません。

最後に言っておきたいことは、親に感謝しましょう。参考書や文房具を揃えるのも全て親のお金のはずです。私は感謝しかありません。私立受験は自分が予想しているよりもお金がかかります。私は将来親にそのお金を返したいと思っています。皆さんも親に感謝しましょう。

兵庫県立大学

特IIコース
西宮市立大社中学校出身

Ⅲ-10 中村 真太郎



私はこの学校での3年間で、多くのことを学び、成長することができました。クラスの雰囲気がとても良く、過ごしやすい環境の中で学校生活を送ることができたのが印象に残っています。勉強と日常生活のバランスを取ることに悩むこともありましたが、周りの人に支えられて乗り越えることができました。

進路を決めたきっかけは、共通テストで思うような結果が出なかったことです。その結果を受けて、自分の状況を

見直し、本当にやりたいことや学びたいことを考え直しました。そして、自分の将来に合った勉強ができる進路を選びたいと思うようになり、先生や家族と相談しながら進路を決めました。

勉強方法と入試対策については、配点が高い数学の対策として、二次試験までの時間で過去問を中心に取り組みました。間違えた問題は直しをして、考え方をしっかり理解することを意識しました。また、よく出る問題のパターンを覚えることで、効率よく点が取れるように工夫しました。英語は単語や文法などの基礎をしっかりと覚えることが大切で、英作文は先生に添削してもらうことで力がつきました。国語は過去問を解くことが重要で、問題の傾向に慣れることで安定して点が取れるようになります。本番では時間配分を意識し、いつもと違う問題が出てもしっかりと落ち着いて取り組むことが大切です。

最後に、これから受験を迎える皆さんへ。私自身、私立大学は滑り止めしか合格できず、国公立大学の試験まで大きなプレッシャーを感じていました。そのため、油断せず、ほどよい緊張感を持って試験に臨むことが大切だと感じました。最後まであきらめずに努力を続けてください。応援しています。

兵庫県立大学

特Iコース
ハンドボール部
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-7 吉岡 俊磨



・六年間の思い出

私は中学から6年間、報徳で過ごしました。その中で特に思い出に残っているのは、中3の沖縄での修学旅行です。民泊では、知らない人の家に泊まるのは初めてのことで、とてもいい経験をさせてもらったと思っています。

・進路を決めたいきさつ

高3の夏まで岡山大学を目指して勉強をしていましたが、模試の結果を見て、もう一度改めて大学を調べました。その時兵庫県立大学を見つけ、自分に合っていると感じたので第一志望を変更しました。正直、あまり調べずに岡山大学を第一志望にしたので、変更せざるを得なくなったのだと思います。なので、大学についてなるべく早く調べることが大事なのだと思います。

・勉強方法、時間の使い方

英語：英文法はスタサブで関正生先生のスタンダードレベル英文法を見ていました。関先生の授業は分かりやすいのはもちろん、音読をすることの大切さや、暗記しない英語を教えてくれるので、とてもおすすめです。英語は、何回も長文を読み、その都度音読するのが大切だと思います。音読はすぐに点数が上がるわけではないですが、毎日続けることで、効果が出てきます。私は、共通テスト本番で過去最高の点数をとれたのですが、音読のおかげだと思っています。

数学：夏休みまでに黄チャートをわからなかったところに印をつけながら二周しました。それが終わってからは共通テストの過去問を解いていました。数学は解法を知らないといけないということが多いため、まずは解法を頭に入れることを重視していました。

化学：私が使っていたのは、主に理論は宇宙一わかりやすい化学、無機と有機はゼロから劇的にわかる無機・有機

化学の授業という参考書を使っていました。特に後者は、これ一冊で基本からしっかり対策できます。無機・有機をこれから始めようと思っている人は、特にお勧めです。

物理：物理のエッセンスという参考書を主に使ってました。物理が苦手な人には少し難しいかもしれませんが。

・入試の攻略法

私が受験を通して合格するために必要だと思ったことは、目標を定めるということです。例えば、夏休みの間にチャートを二周するとか、今月でこの問題集を終わらせるなどです。小さな目標を掲げ、それを達成していくことで、自信にもつながりますし、何をやらいいのかわからない、という状態にもならなくなります。私はとても効果があったと感じています。

最後に、受験は自分一人でするものではありません。身近な人の支えがあってこそだと思います。常に感謝を忘れずに勉強に励んでください。後輩の皆さん、合格に向かって頑張ってください！

釧路公立大学

特Iコース
西宮市立上ヶ原中学校出身
Ⅲ-9 宮岸 鷹輝



高校生活の3年間を振り返ると、最初から受験を意識して頑張っていたわけではなく、正直に言ってあまり勉強に力を入れていたとは言えませんでした。文化祭や体育祭などの学校行事はとても楽しく、友人と過ごす時間を優先することも多く、日々の生活も大きな目標を決めないまま過ごしてしまっていたと思います。当時はあまり深く考えていませんでしたが、今振り返るともう少し早くから進路について意識しておけばよかったと感じています。

進路について考え始めたきっかけの一つは、高校2年生のときに参加したオーストラリアへの語学研修です。そのときホストファミリーとあまりうまく会話ができず、自分の英語力の足りなさを実感しました。その経験から将来について考えるようにはなりましたが、それでもすぐに勉強に切り替えられたわけではなく、生活自体は大きく変わりませんでした。高校3年生のときにフィリピンでの語学研修にも参加し、前より話せるようになった実感はありましたが、受験に向けて本気で勉強していたとは言えない状態でした。

勉強については、指定校推薦を狙える位置にもおらず、また普段からコツコツ勉強していたタイプではありませんでした。定期テストの前に少し勉強するくらいで、受験を意識した勉強はあまりできていなかったと思います。共通テスト前になっても大きく生活を変えることはできず、できる範囲で基礎を見直したり、共通テスト形式の問題を少し解いたりする程度でした。本番が終わって自己採点をするために登校し、担任の先生と進路について話し合いました。その中で自分の点数で受けられる大学と一緒に考え、この学校を受験することを決めました。最初から目標にしていた進路ではありませんでしたが、自分に合った選択ができたと思っています。

後輩へのアドバイスとして伝えたいのは、早いうちから成績を意識しておいた方がいいということです。自分は普段あまり勉強してこなかったもので、選べる進路が限られてしまいました。特に指定校推薦については、「狙いに行か

ない方がいい」と言われることもあると思いますが、狙える位置にいるなら遠慮せずに狙いにいった方がいいと思います。普段のテストや提出物をしっかりやっていたらチャンスは広がるし、後になってから焦ることも少なくなると思います。

受験は人それぞれ形がありますが、早くから動いておいた方が余裕を持って進路を選べると思います。自分のように後から考えることにならないように、今できることを大切にして頑張ってください。応援しています。

青森公立大学

特Iコース
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ-9 道本 耀太



大前提として、私のクラス順位は下の方である。

模試も決して良くなかった。勉強もろくにしていない私が合格できたのは、断じて勉強に目覚めたとかそのような高尚な理由でないことを念頭において欲しい。

ではなぜ合格できたのかと言うと、ただ運が良かった。この一言に尽きるだろう。無論私にもそれなりに秀でている教科があったからこそ合格なのではあるが、この合格に至った理由は本当に運が良かっただけである。

私は国語が、特に現代文が非常に得意だ。今年の共通テストは自己採点の限りでは現代文は満点だった。しかし他教科が絶望的だった。到底第一志望には届かず、国公立へ行くという目標は潰えたかと思っていた。しかし、担任の調べによると私の共通テストの成績でもA判定が取れる大学があると言う。そこからそれなりに悩んだ末にその大学に受験することを決意した。個別試験の国語の試験は、長い記述問題以外は共通テスト同様の選択問題で、大問も一題だけと非常に易しい。先生に用意していただいた過去問のおかげで無事に合格した。合格できるか半々くらいで見えていたので、これは運が良かったからかもしれない。

私がこのように国語だけ出来るのには理由がある。ひたすら本を読んでいたので。毎日スマホでネット小説を読み漁ったり、学校の図書館にあるライトノベルを読み漁ったり、古本屋で面白そうな本を衝動買いしたり、そんなことで読んだ本が私の国語力の大半を担っている。自慢になるかは微妙だが、二時間ほどあれば一般的な長さの小説は読みきることが出来る。

このように本を読めばきっと現代文は出来るようになる。まずは図書館でライトノベルを読むことから試してみたい。短編集で隙間時間に読みやすいので「キノの旅」と言う本をオススメする。

秋田県立大学

特IIコース
弓道部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ-10 上本 慎悟



私はこの春、秋田県立大学に合格しました。受験生活を振り返ると、ずっと順調だったわけではなく、思うようにいかない時期もありましたが、自分なりにコツコツと続けてきたことが最後の結果につながったと思います。

まず大学選びについてですが、私は第1志望の大学は別で共通テストで失敗し、秋田県立大学を選ぶことになりました。秋田は少し遠いと感じましたが、その分落ち着いた環境で勉強に集中できる点に魅力を感じました。

科目ごと

英語:「1カ月で攻略! 大学入学共通テスト英語リーディング・リスニング」で大問ごとにどういう問題が出るのかわかるのを暗記し、過去問・予想問題集で解きまくったら点数がとれるようになると思います。

数学:「基礎問題精講」などで基礎を徹底的にし、難しい問題にこだわるよりも基本問題を確実に解けるようにしました。

理科:物理と化学は苦手でしたが、リードaを最初からやって基礎的な所から理解し、繰り返し問題を解くことで少しずつ点数を伸ばし、2次試験の物理では良問の風をやり、応用力を付けました。

国語:国語は理系の人からしたら点数が上がりにくい科目ですが、過去問を通して形式に慣れることが大切だと思います。

社会:地理選択だったのでYoutubeを見て数学などの主要科目の合間に勉強し、暗記だけでなく流れを意識して頭の中を整理していました。

情報:「藤原のたった9時間で情報I」で動画を見ながら用語・問題演習し、本番直前にぶち込みました。

最後に後輩の皆さんへ。受験は大変で、思うような結果が出ずに不安になることもあると思います。それでも、最後まであきらめずに続けることが大切です。自分自身も途中で不安になることがありましたが、努力を続けたことで納得のいく結果を出すことができました。

受験は大変ですが、その分終わったときの達成感は大きいです。自分を信じて、最後までやり切ってください。応援しています。

防衛大学校

特Iコース
陸上競技部
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-7 井藤 悠介



中学校3年間は大好きな野球をしながら、勉強を程よくしていたので、定期テストや模試でも学年10位以内をとって充実した日々を送っていました。この頃は大学受験に関しては有名な大学に行きたいなと思っていました。

高校3年間は小学校から続けていた野球をやめて新しく陸上競技を始めました。陸上の練習がとてきつかったので、勉強が疎かになりどんどん成績が落ちていきました。今思えば、高校一年生のころから一時間でも毎日していたらもっと楽になっていたなと感じています。特に英語は早い段階でやっておくべきだったと今でも後悔しています。

さて、わたしがなぜ防衛大学校を志したかという、毎年学校がやっている進路ガイダンスで、中学校3年生のころ自衛隊の話聞いて、そこで防衛大学校を知りました。高校2年時、「人生は一度きりだし挑戦してみよう」という思いで、防衛大学校へ進学することを決めました。しかし、落ちたら国公立大学を受験しようと決めていました。

私の経験から共通テストと防衛大学校の試験の両立の方法を皆さんにお伝えします。まず、受験を意識しだしたの

は、高校三年になる前の春休みで模試の結果を見たとき国公立大学の判定が良くなく焦り始めました。まずは苦手な英語に手を付けました。英単語を勉強するのはもちろん一番重要と感じたのは、熟語をやるべきだと思いました。熟語を覚えることで長文がスラスラ読めるようになりました。数学はとりあえずチャートをやりまくりました。個人的な感想で、テスト前にみんなやる数学クリアをやりこむと計算力が上がっておすすめです。あとは入試問題のような問題を解き続ければ伸びると思います。理科は正直入試までには終わらないので、スタディサプリを見るか、予備校の授業で先取りしたほうが良いです。時間がないです。特に物理は基礎ができた単元からすぐに良問の風をすとおすすめです。社会は僕自身がもともと得意なので、勉強法はわかりません。時間の使い方に関しては部活をやっていたので、部活終了後は家に帰らず、予備校にいました。これで強制的に勉強していました。

入試の攻略については、まずは行きたい志望校を見つけることからだと思います。惰性で勉強しても続かないので何か目標を立てることが重要です。これは特殊ですが、防衛大学校の推薦入試は9月末ごろにあるので、共通テストの勉強との両立が大変です。私は、4月から7月までは共通テストの勉強に集中していました。8月以降は8割防衛大学校、2割共通テストの配分で勉強しました。共通テストの勉強も防衛大学校の試験にもつながるので、心配せずに目の前の課題に集中すべきです。面接、集団討議に関してはお近くの自衛隊の地方協力本部にいつて対策してもらってください。

最後に、報徳学園は部活している人が大半なので日々疲れて、勉強から逃げることもあるかもしれませんが、しっかりと自分で決まりを作ってメリハリをつけることが重要です。皆さんも自分の目標に向かって最後まで頑張ってください。ご精読ありがとうございました。

早稲田大学

特Iコース
ラグビー部
岡山市立京山中学校出身

Ⅲ-6 三浦 照矢



高校生活、楽しみながら過ごせてよかったと思います。男子校ならではの雰囲気がとても新鮮で楽しかったと思います。部活動では怪我や不当な評価により思うような実績があげれずとても苦労した日々を今でも鮮明に覚えています。ですが、頑張った実績というのは受験においても人生においてもとても重要だということを感じました。

最初は、高校2年生の時に総合型選抜で慶應義塾大学に行きたいと思ってました。しかし、活動実績の多さや研究内容の明確性、達成率など、非常に高い完成度を求められる入試方法と倍率に憧れ感覚で志望した私は挫折しました。他の大学か一般で別の大学かについて、長い間考えたことを覚えています。最終的には本で調べた倍率の低い早稲田大学人間科学部を第一志望にしようと決意したのは高校3年の春でした。

総合型選抜は志望する大学のことを知っているだけでは受かりません。「自分がこういう人間だから貴学と合っている」や「自分は継続力や協働性があるため、貴学の教育課程に合っている」など自分のことを知っていてかつ自分のことを志望大学に売り込まないといけません。自分のこ

ととは長所、短所、価値観、魅力、人間性や頑張ってきたことなどのことです。長所や短所などを人に話すのは恥ずかしいからこそ、同じライバルと差をつけるチャンスです。

ボランティアや競技などの実績がないと総合型選抜で合格できないと思いがちですが、それは違います。志望大学でのライフデザイン(やりたいこと)や大学(アドミッションポリシー)とのマッチ度が重要であり、その他のことは前者の根拠でしかないのです。根拠はボランティアや競技などの実績以外にも学校生活(精勤・皆勤・授業中の取り組み)、部活での取り組み方(朝練・自主練・部活への姿勢)など作ろうと思えば、いくらでも作れます。実際に私は、「粘り強く継続できる人間である」という自己分析に、3年間寮生ながら学校は皆勤、部活の欠席は熱中症になった1回、練習に出るのもトップクラスだったことを根拠として使いました。

根拠(実績)は結果よりも課程を詳しく説明し何を学んだのかを書きましょう。その方が根拠の根拠になり、成長できる人間と思われれます。例えば、「部活で全国大会に出場しました。」よりも「毎日、朝練を継続して行い、練習後も自主練習しながら取り組むことで自身のスキルが上がり全国大会に出場することができました。この経験から努力を重ねることが成功に繋がりやすくなることを実感しました。」の方が良い印象をもたれます。

根拠を集めるのも早い準備が重要になります。レベルの高い大学では根拠の強さも重要視されます。そして、これはあくまで土台の話です。出願条件に満たなければ出願できませんし、志望理由書を作成するのにも多くの時間を割かなければなりません。運で受かるようなことはなく、その大学に合格するに見合うくらいの努力を総合型選抜でも一般入試でもしないとイケません。

だからこそ、合格を勝ち取ったことはとても嬉しいし、学びたい学問を学べることはとても感激です。後輩のみなさんも頑張ってください。

立教大学

進学コース
硬式野球部
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-3 岡田 壮真



私の高校生活での思い出は、野球と勉強の両立に全力で取り組んだことです。私は硬式野球部に所属しており、野球部では日々の練習に真剣に向き合い、技術の向上と甲子園に出場することを目標に努力を続けました。一方で、学業もおろそかにせず、限られた時間のなかで効率よく勉強することを意識してきました。大変な時期もありましたが、この経験を通して継続する力や自己管理能力を身につけることができたと思います。

進路をきめたきっかけは、文武両道を実現できる環境で、より高いレベルの野球に挑戦したいと考えていたからです。これまでの経験を活かしながら、さらに自分を成長させていきたいという思いが強くなり、現在の進路を志望しました。

時間の使い方については、日々の積み重ねがとても重要だと思います。特に英検の点数スコアが必要だったため、毎週の小テストの勉強を怠らず、毎回合格できるように準備を徹底してきました。短い時間でも集中して取り組むことで、効率よく学力を伸ばすことができたと感じます。部

活動に入っている方は、練習などで疲れて勉強する意欲がないと思います。勉強する時間も少なく大変ですが、小テストの勉強を真剣に取り組めば、いつの間にかたくさんの単語を覚えて、英語が楽しくなってくるはずですよ。部活動で疲れていて辛いのはよくわかりますが、小テストくらいの勉強はちゃんとやろうという心がけを持ってください。

入試では志望理由書と英検のスコアなどを提出しました。志望理由書は何度も書き直し、自分の考えや思いがしっかり伝わるように工夫しました。担任の先生や野球部のコーチに何度も修正していただきながら、自分の納得いく文章をつくりあげることができました。志望理由書は簡単にできるものではないので、早い段階から作成し先生に見せることをおすすめします。

後輩の皆さんは、目標を明確に持ち、日々の努力を大切にしてほしいと思います。進路は早い段階で方向性を決めることで、やるべきことが明確になり、努力しやすかったり、質も高まると思います。自分を信じて最後までやり抜いてください。応援しています。

立教大学

特Iコース
ラグビー部
神戸市立向洋中学校出身

Ⅲ-9 平賀 快



私は指定校推薦で立教大学現代心理学部に合格しました。私はラグビー部に所属し、毎朝5時20分に起きて早朝練習に向かい、放課後も自主練習に時間を当て、21:30頃に帰宅する生活を続けてきました。体力的に厳しい日々でしたが、部活動と勉強の両立から逃げないことを自分の中で決めていました。

指定校推薦という制度を知ったのは高校二年生の頃です。その時から、日々の定期テストの積み重ねが進路に直結することを強く意識しました。今の努力が未来をつくると考え、それ以降は授業態度や提出物にもより一層力を入れました。放課後に長時間勉強することは、毎日練習がある私にとって簡単ではなかったため、電車通学の時間を有効活用しました。単語帳や一問一答を繰り返し確認し、毎日少しずつでも必ず勉強する習慣をつけるようにしました。まとまった勉強時間が取れない分、隙間時間をいかに上手く使うかを強く意識しました。定期テストは、二週間前から本格的に試験勉強に取り組み、苦手分野では担当の先生に聞きに行き、授業中に理解しきることを努力しました。練習前の1時間の勉強時間や部活動終わりの金次郎スタジオで短い時間でも集中して勉強することができたと思います。模試では、比較的良好な成績を維持することができましたが、それは間違えた問題の解き直しを徹底していたからだだと思います。点数に一喜一憂せず、同じミスを繰り返さない姿勢を大切にしました。

部活動、通学時間の勉強、テスト前の追い込み。その一つひとつは簡単なことではありませんでした。それでも小さな努力を積み重ねた結果が今回の合格につながりました。まさに「積小為大」を体現できた三年間だったと感じています。大学でもこの姿勢を忘れず、努力を継続していきたいです。

関西学院大学

進学コース
硬式野球部
宝塚市立安倉中学校出身

Ⅲ-4 久米 甚一郎



私はこの春から関西学院大学法学部法律学科に進学します。私の報徳学園での3年間で最も印象的な思い出は部活動です。毎日の厳しい練習や試合に勝つ為に仲間と切磋琢磨しあった日々は今となってはかけがえのない思い出です。振り返ると辛い事ばかりであり、あまりいい思い出はないですが部活動や日々の学園生活で人間として成長できた3年間でした。私が進路を決めたきっかけは、入学後、進学コースで上位の成績を取めると関関同立の学校の指定校推薦を受ける事が出来ると聞いたことです。結果的に目標は達成できたのですが、一年生の頃から妥協せずにより高い順位を目指しておけば良かったと後悔しています。その結果2.3年生で焦りが生じ、かなりしんどい思いをしました。この事から1年生では進路選択はかなり先のことで現実味は無いかと思いますが、定期テストでより高い順位を取る事を目標として勉強に励んでほしいと思います。2.3年生は過去に自分のように妥協や怠けてしまったとしても、その過去を改めて今やるべき事に全力で取り組んでほしいと思います。定期テストの勉強方法は、授業をしっかりと受けて、授業内である程度覚える事が大切だと考えています。進学コースの勉強内容は暗記する事が大半な中でテスト期間の最中も部活動があり、家で勉強時間を取る事や勉強しようとする事が中々難しいと思います。そこで授業である程度覚えておく事で、テスト前に勉強時間を減らす事ができるので授業を大切にすることが大切だと思います。またテスト範囲が終わった授業で行われる自習の時間や部活動で設けられる勉強会を活用する事で家で勉強する時間を減らす事ができるため、この自習の時間を無駄にしない事を意識して欲しいです。最後になりますが、私の合格体験記を読んで、1人でも勉強を頑張ってみようと思っていただけたのであればとても幸いです。私のアドバイスは主に進学コースに向けた内容でしたが、部活動と勉強の両立を目標にして頑張りたいと思います。皆様のご発展をお祈り申し上げます。

関西学院大学

進学コース
サッカー部
西宮市立甲陵中学校出身

Ⅲ-5 西 倫平



私は、指定校推薦で関西学院大学文学部に入学いたします。高校入学前は特進コースに入ろうと考えていましたが、サッカーに集中するなら進学コースに入った方がいいと中学時代のコーチに教えてもらい、進学コースに入学することを決めました。その際、大学についても考えました。指定校推薦という入試方法があるのは知っていたので、1年生の頃から定期考査と模試は常に意識していました。

定期考査については1週間前から少しずつ勉強を始めました。1週間で覚えるのは難しいと思うかもしれませんが、日々の授業を真剣に受けていれば確実に頭のどこか

に記憶され、テスト勉強で思い出すことができました。結果、1週間でも全ての範囲を復習して良い点数を取れるようになりました。あと、夜しっかり寝ることでその日勉強した内容を頭の中で整理でき、次の日も勉強に集中することができました。加えて、早く寝ることで病気・怪我を予防でき、部活動にも良い影響を与えてくれました。普段の生活の中でも、部活などで夜遅くなることもあると思いますが、できるだけ早く寝るということを頭に入れて欲しいです。

模試では、所属していたサッカー部の特進コースの友達と勝負をしていました。一日中問題を解かないといけないしんどい日というイメージを変えることで模試に対する意欲も変わり、それが後々自分のためになりました。

また、英検もとても重要です。近年、英検を審査基準にする大学が増えているという話を聞いて2級を取得しました。英検を取得することで進路実現につながり、英語学習について自信を持つことができました。毎年行われる学校での英検の試験では合格を目指して勉強して欲しいです。

最後に、この合格体験記を書くにあたって高校生活の3年間を振り返ってみると、本当に濃くあっという間の3年間だったなと思います。あの時もっとこうしてればという後悔も少なくありません。卒業する際に悔いは無いと胸を張って言えるように1日1日全力で頑張りたいです。

関西学院大学

特Iコース
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-6 足立 尚樹



報徳学園での6年間を終え、元受験生として実感したことを共有します。あくまで個人的な意見ですが、一つの戦略として参考にしていただければ幸いです。

1. 英語を究めましょう。

文理を問わず、受験における最大の武器は英語だと私は思っています。数学や理科は問題の相性に左右されがちですが、英語は一度実力がつけば点数が大崩れすることはそうありません。特に共通テストで安定して高得点を取れる力は、直前期の精神的な支えになります。英語を単なる得意科目で終わらせず、点数稼ぎの科目として完成させてください。

2. ネットをフル活用しましょう。

教科書や参考書で詰まったら、すぐに検索しましょう。ちょっとした疑問でも検索すれば解決のヒントが見つかるかもしれません。私が特に活用したサイトを3つ紹介します。

「高校物理をあきらめる前に」

基礎の基礎から丁寧な説明があり、難しい現象もシンプルな図で視覚的に分かるように工夫されています。サイト自体が整っており、使うときにストレスも溜まりません。教科書とセットで使って、分からない部分を補うのが一番いい使い方だと思います。

「化学のグルメ」

化学に関することならこのサイト1つで完結します。フルカラーのイラストに加えて、きれいに整理された表やチャートが役立ちます。なぜを丁寧に解説してくれているので、暗記が大変な分野もスムーズに理解できます。私はスクリーンショットした画面を暗記カードとして活用していました。

「Yahoo! 知恵袋」

他人の質疑応答を見れるサイトです。自分が抱く疑問は、過去に誰かが必ず質問しています。自分の疑問にピンポイントで答えてくれるので、とりあえず検索するだけでも問題が解決します。

3. AIに頼りましょう。

AIは単に検索ツールとして使うだけでなく、使い方を工夫することでその真価を発揮します。特におすすめしたのは、自分に必要なコンテンツを新しく生成させる、という活用法です。私は実際に、苦手な分野の類似問題を作成してもらったり、暗記の語呂合わせを考案させたりしていました。また、どうしてもわからないときは、身近な例え話に置き換えて解説させるなどもしました。さらに学習面以外でも、自分の希望条件に沿った志望校の候補をリストアップしてもらったり、記述問題の自己採点や教科書の要約を依頼したりと、様々な場面で活用しました。AIを頼ることは作業も勉強も効率化できる裏技です。存分に使い倒してみてください。

最後に、この文章がみなさんの役に立てることを願います。どうか悔いのない道を進めるように頑張ってください。

同志社大学

特Iコース
サッカー部
西宮市立今津中学校出身

Ⅲ-8 酒井 優多



私は、指定校推薦で同志社大学に進学させていただくことになりました。今回このような機会をいただけたので、私が普段から意識していたこと、進路に至った経緯について書こうと思います。

私はサッカー部に所属していたので、高校1・2年の間は部活動に重きを置き体調管理の為に早寝早起き、そして何より家で学習したくない、という思いもあり学習面では学校で終わらせるということを意識していました。そのためには「わからない」をなくすということです。これは中学生の時から意識していたのですが、わからないことをわかるに変えることが苦手分野の復習や定着に繋がっていくと思います。学校で学習を終わらせるということを意識していたので、すぐに取りかかるという面でも良かったと思います。また授業はとてもわかりやすく、きちんと聞いていれば学校内で完了し、家ではリラックスするというオンとオフの切り替えも上手くできていたことも良かったと思います。

私が受験を意識したのは高3の春です。この時の自分は将来自分がどうなりたいのかと考えるようになりました。もちろんきっかけは進路です。今までは漠然とどこかの大学へ行ければいいな、という感覚でした。しかしどの大学のどの学部に行きたいのか、そしてその大学では何を学びたいのか、またどんな職業に就きたいのか、と具体的に考えなくてはいけない時でした。その時の自分は上手いことないこともあり正直面倒でした。どこの大学へ行きたいというよりも将来どんな大人になりたいのか、そのことを考える日々が続きました。そんな時、両親から資格を目指すのはどうかと言われ、様々な資格を調べてみました。その中で自分のやってみたいと思える資格があり、挑戦してみたいと思えるようになりました。そこから進路を考えるのは速かったです。このように私の進路は、どんな

職業に就きたいかと考えてそこから決まりました。

このように私の合格体験記はどのような学習方法が良かったといった具体的なことはなく、今こうして振り返ると日々の積み重ねだと実感しています。きっかけは家では学習したくないという気持ちからですが、「わからないをなくす」「すぐに解決する」を実行したことは本当によかったと思っています。このことが定期テストや模試、英検にも繋がっていき、結果自分の将来や進路にも繋がりました。日々の授業を無駄にしなかったと自信を持って言えます。

最後に、まだどんな進路に進むか決めてない人、もうすでに決めている人、様々な人がいると思いますが、日々の積み重ねを続けてみて下さい。自分の目標が見つかった時それは大きな財産となります。皆さんの進路が実現するよう応援しています。

近畿大学

進学コース
サッカー部
西宮市立甲武中学校出身

Ⅲ-5 前場 健太郎



私は公募推薦で近畿大学に合格しました。私が近畿大学に合格することができた大きな要因の一つは英検2級の取得です。

ここからは試験科目や受験期の反省などについてお伝えします。

【英語（英検）】

英検2級は公募推薦、一般受験では大学によりますが、みなし得点として受験時に英語の得点が70～85点に換算され、指定校では選考の判断材料の一つとなります。

取得のきっかけは、1年生のとき、担任の先生との面談で大学進学に役立つからという理由で勧められました。そして、3級から受験し、3年生の夏前に2級を取得することができました。英検のいいところは年3回受験でき（S-CBTも含めるとそれ以上）、もしも入試本番の英語の試験が振るわなくてもみなし得点での保険があるという点です。

ただ注意点もあります。私は「英語」の勉強はあまりせず、「英検に受かるための勉強」ばかりしてしまったため、2級取得後に英語の勉強を一からやりました。英語の勉強をする一環として英検2級が取得できていれば少し余裕ができていたと思います。

ですから、英検を受験するみなさんは「英検」の勉強ではなく「英語」の勉強をすることを徹底してほしいです。

【国語】

現代文は読み方がわからなかったもので、読み方を国語科の先生に聞き、教わった方法で何度も現代文を解き続けると解けるようになってきました。

古典は近畿大学では基礎的なことしか出題されないので活用表と意味、古典単語を暗記すればだんだん解けるようになりました。

【勉強方法】

勉強方法についてですが、私は周りの人とは違ってコツコツ勉強するのが苦手で気分が乗っている時にまとめて勉強するタイプでした。この勉強法が本当によくありませんでした。色々な人が「コツコツ勉強したから合格できました」と言っていると思います。本当にそうだと思います。どんなにめんどくさくても、どんなにしんどくても少しで

いいので勉強する、単語帳を開く習慣をつけることが大切だと身に沁みて理解しました。ですからみなさんはめんどくさくてもサボらずに日々勉強することを心がけてください。勉強に限らず何をやるにしても日々の努力が1番重要だと思います。

私は自然環境やまちづくりが好きという理由で近畿大学の環境のことが学べる学部を志望しましたが、当初は未来のことだからなんとなくで受験のことを考えており、緊張感が全くありませんでした。部活を引退してから勉強を始めると周りのライバルより遅いです。部活をやっている人は忙しいとは思いますが少しでも早いスタートをきれると焦らずにいいペースで受験期を過ごせると思います。

この3年間、特別心に残っている思い出はありませんが、卒業して思い返してみると当時はただ過ぎていくだけの時間の中にあつた友達や先生との会話、毎日の授業や部活動の一つ一つが大切な思い出だと気付かされました。

ことが過ぎ去ったあとに後悔してほしくないのです。みなさんには存分に今を楽しんで、そして勉強に励んでほしいです。

近畿大学

特Iコース
少林寺拳法部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ-7 生田 悠陽



僕は報徳学園で少林寺拳法をしたくて中学から入学しました。中1から高3の夏まで、ほぼ毎日部活中心の生活をしてきたため、勉強に苦手意識を持っていました。中学の頃から将来を考える機会があるたびに変わっていくものの、どこかで化学や物理といった理科を使う進路に進みたいと思うようになりました。そのため高2では理系を選択したものの、部活をしながらの両立は本当に大変でした。なんとなく理系の道と考えていた頃、高3に上がり、担任の先生と進路の話をするうちに、今の大学・学部を知ることができました。自分なりに調べていくうちに、自分のやりたいことがどんどん明確になり、高3の7月にここにいきたい、ここで学びたいと強く思うようになりました。ただその時点で7月末にインターハイを控えていたため、ハードな練習を毎日していました。部活をしながらの勉強は体力的にもとても厳しく、部活終わりの7時半から金スタの質問型の自習室でわからないところを聞いたり、基本を抑えるためのスタサブや黄色チャートなどをしたりしていました。インターハイでは全国5位、13位という成績をおさめることができ、そこから受験に向けて気持ちを切り替えることができました。8月上旬にオープンスクールへ行き、さらにここで学びたいと強く願うようになりました。いきたいところが決まったことで何をしたらいいのか、今の自分に何が足りないのかを明確にすることができるようになり、そこからいきたい大学の受験科目に必要な数学、化学、英語の勉強をしました。どうしてもこの学校へ行きたいという強い気持ちがあり、可能性を増やすため総合型選抜での受験することに決めました。オープンスクールで総合型選抜の模擬講義があったので本番でのイメージがしやすく、試験対策をするのにとても有効だったので、どんどん参加する方がいいと思います。願書提出に必要な志望理由書や活動報告書は、インターハイ終了後、部活の先生方に見ていただきました。受験内容が数学の授業を受け

て、その際のノートの提出、授業内容の範囲で出された課題に対してグループディスカッション、最後にテストとレポート作成でした。自分では数学の勉強をし、試験が近づいた時、担任の先生にグループディスカッションに向けての練習を行っていただきました。不安なところやわからないことは先生方に尋ね、たくさんのご指導をいただくことができました。一人で悩まずにたくさん先生方に相談することができたのも僕にとっても良かったです。どの先生方もお忙しい中、僕のために沢山の時間を割いてくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。

最後になりますが、総合型選抜の受験とは、自分がそこで何を学びたいのか、その大学で無ければならない理由は何か、を明確にしてそのために今の自分に何が必要なかを逆算し、進めていくことだと思います。”強く想えば必ず成る”この言葉を信じて皆さんも頑張ってください。



近畿大学

特Iコース
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ-7 枝川 真大



指定校推薦を取れた理由は、日々の積み重ねを大切にしてきた姿勢にあると考えています。まず最も大きな理由は、三年間を通して安定した学業成績を維持してきたことです。定期考査ごとに目標を設定し、苦手科目から逃げずに計画的に学習を続けました。分からない部分はそのままにせず、担当の先生に積極的に質問し、基礎を徹底的に固めることを意識しました。その結果、評定平均を高い水準で保つことができました。

また、提出物や生活態度といった基本的なことを徹底してきた点も大きいと思います。期限を守ること、挨拶を欠かさないこと、校則を守ることなど、当たり前のことを当たり前続けることを意識してきました。小さな積み重ねが信頼につながり、その信頼が指定校推薦という形で評価していただけたのだと考えています。

私は、特別な才能があったわけではありません。しかし、自分にできる努力を地道に続け、周囲への感謝を忘れずに行動してきました。その姿勢を先生方に認めていただけたことが、今回の結果につながったのだと思います。これからも初心を忘れず、大学でも努力を重ね、周囲から信頼される存在へと成長していきたいと考えています。

近畿大学

特Iコース
写真部
私立報徳学園中学校出身
Ⅲ-8 谷出 敦紀



六年間の報徳学園生活の中で、私が一番思い出に残っていることは、高校二年生のときに行った修学旅行でグアムに行ったことです。私はグアムに行くまで海外に旅行したことがなかったため、この修学旅行はととても貴重な経験と

なりました。初めてのことがたくさんある中で、友達や他の報徳生とわいわいと過ごした時間が本当に楽しく、六年間の学校生活の中でも特に印象に残る一番の思い出となりました。

私が看護師を目指そうと思ったきっかけは、小さい頃に父が病院に入院したことです。そのとき、看護師の方が父が退院するまで一生懸命に寄り添い、支えている姿を見て、私もこのように人を支えることができる看護師になりたいと思うようになりました。しかし、なりたい職業は決まっていたものの、どこの大学に進学するかまでは決めていませんでした。そのため、いくつかの大学のオープンキャンパスに参加し、大学の雰囲気や学びの内容について知るようにしました。その中で、大和大学に進学しようと考えようになりました。

しかし、高校三年生になり指定校推薦の対象校が発表された際に、近畿大学に看護学科があることを知りました。そこで改めて進路について考え、親や先生に相談しました。その結果、より充実した環境で看護について学びたいと思い、近畿大学看護学部看護学科を指定校推薦で受験することを決めました。

私は指定校推薦を選択する前、塾に通いながら勉強に取り組んでいました。基本的には、その日に授業で分からなかったところを家で復習し、それでも理解できなかった部分を塾の先生に教えてもらうという方法で勉強していました。また、ずっと塾や家で勉強しているとモチベーションが続かないこともあったため、自習室や図書室など場所を変えて勉強するようにしていました。環境を変えることで気持ちを切り替えることができ、集中して勉強に取り組むことができました。さらに、夜遅くまで勉強するのではなく、朝早く起きて勉強するという生活習慣も意識していました。朝の時間は集中しやすく、効率よく学習することができたと感じています。

私は指定校推薦を利用して合格したため、これから指定校推薦を使って大学受験に挑もうと考えている人に向けて書きたいと思います。指定校推薦を受けるためには、まず学校の成績がとても重要になります。そのため、日頃の授業を大切に、定期テストではどんなに難しくても赤点を取らず、できるだけ平均点を超えられるように意識して勉強することが大切だと思います。

また、内申点も非常に重要になるため、各教科の提出物をきちんと出すことや、授業中の態度なども意識することが大切です。こうした日々の積み重ねが、指定校推薦につながるのだと思います。私自身も、実際そうでした。

最後に、今年受験を迎える人や、これから受験を控えている人たちは不安なことも多いと思いますが、自分の目標に向かって努力を続けてください。皆さんのことを応援しています。

龍谷大学

進学コース
ハンドボール部
宝塚市立宝塚第一中学校出身
Ⅲ-3 吉田 安里



私は、四月から指定校推薦で龍谷大学経済学部に進学させていただくことになりました。これから三年間どのように生活して、指定校推薦を取ったのかを話したいと思います。

まず私は高校受験に失敗し、報徳学園に通うことになりました。入学当初は『本当は公立高校行く予定だったのに…』とかなり落ち込んで登校するのも嫌でした。しかし報徳学園で生活するうちにそんな気持ちもいつしか消えて、今では報徳に通ってよかったなと思っています。

次に勉強方法について話していきます。私は部活が終わると金次郎スタジオに向かい、定期テストの勉強をしていました。普段からコツコツ勉強していくことで試験直前では覚えきれてない所だけ勉強することが出来ます。また進学コースは土曜日は午前中、授業がないのでそれを利用していつも通りの時間に登校して、朝から自習をして昼から部活に参加して、時間を有効活用することでよりテストの結果が良くなりました。テスト期間でも朝から最終下校時間まで自習して、家では自由に過ごし、メリハリをつけて三年間過ごしたおかげで、指定校推薦を取ることが出来ました。

次に進路を考え始めた時期や龍谷大学に決めた理由を話します。

進路を考え始めた時期は高校2年の夏頃です。様々な大学のオープンキャンパスなどに参加する内に、自然と考えるようになりました。そこで私は経済学を学びたいと考えていたので、自分に合った大学と学びたい内容がある大学を探し始めました。そして探した結果行きたいと思った大学が龍谷大学でした。龍谷大学経済学部には国際経済学科というものがあり、世界の経済情勢を学べるので、私は世界について視野を向けてみたいと思い、龍谷大学を志望しました。

指定校推薦は主に面接と小論文を用いて合否判断をされます。私は何度も担任と面接練習をし、失敗も沢山しましたが、やはり練習は沢山して損はないです。当日、想定していた質問をされませんでした。咄嗟に自分で考えた内容を話す面接官もしっかりと頷いてくれました。また小論文は本屋で一冊、対策本などを買って何度も書いて練習することをお勧めします。そして龍谷大学の指定校推薦では共通テストを受ける必要があります。私は特進コースの友人と金次郎スタジオで一月末まで一緒に勉強していたのでお互い励まし合って勉強することが出来ました。私は共通テストを受けて、まだ足りないなと思ったことを実感出来たので受けてよかったと思います。

私は受験勉強を始めるタイミングは早ければ早いほど有利だと思います。もし家で勉強が出来ないなら学校で勉強してから帰り、家で自由に過ごした方がメリハリも付き、習慣もつきます。自分が行きたいと思った大学に行けるように精一杯頑張ってください。

神戸学院大学

進学コース
神戸市立原田中学校出身
Ⅲ-2 島貫 泰地



私は公募推薦で神戸学院大学人文学部に合格しました。志望学部を考えている中で、人間の考え方や価値観について深く学ぶことができる哲学という分野に興味を持つようになり、人文学部を志望しました。

私が進路を決めたのは高校3年の夏前ぐらいで、受験勉強を本格的に始めたのは夏休み明け頃でした。最初はどのように勉強すればよいのか全く分からなかったため、友人

に相談し、どの教材が良いのかや単語の覚え方などを教えてもらいながら勉強を進めました。私が勉強に使っていた教材はターゲット1200とスタサプです。ターゲット1200は基礎を固めることができるので、必ず覚えるべき単語帳だと思います。スタサプはさまざまな科目の授業があり、私は国語と英語の授業を中心に受けていました。国語では随筆の読み取り方や古文・漢文の解き方を学び、英語では長文の読み方や文法の基礎を学ぶことができました。勉強は主に休日に家の近くの自習室を利用して行っていました。家では集中できないこともあったため、できるだけ自習室に行くようにしていました。また、学校の休み時間や通学電車の中などの隙間時間も活用して英単語の暗記をしていました。1日の勉強時間はそれほど長くはありませんでしたが、短い時間でも継続して取り組むことを意識していました。入試対策として大切だと感じたのは、自分のレベルに合った教材で基礎をしっかり固めることです。いきなり難しい教材に取り組むのではなく、自分のレベルを理解して段階的に難易度を上げていくことが大切だと思います。基礎をおろそかにすると入試問題は解けないため、簡単な問題を確実に解けるようにすることを意識しました。

最後に大切なのはメンタルだと思います。どれだけその大学に行きたいか、どれだけ勉強するかは自分次第だと思います。強い意志を持って勉強を続ければ結果につながると思うので、志望校合格を目指して頑張ってください。

神戸学院大学

進学コース
サッカー部
西宮市立浜脇中学校出身

Ⅲ-4 石川 隼人



私は今回、公募推薦で神戸学院大学に合格することができました。受験方式は、調査書と学力試験の結果によって評価される形式でした。そのため、日々の成績と本番の試験のどちらも疎かにできないと考え、計画的に対策を進めました。

まず、調査書に大きく関わる評定平均を意識し、定期試験や提出物などをとても大切にしていました。授業で理解が曖昧な部分はその日のうちに復習するようにしました。また、定期テストでは早め早めから対策して勉強することで勉強する習慣が身につきました。その習慣が受験勉強にとても役立ちました。提出物についても期限を守るだけでなく、内容の質にもこだわり、自分なりに工夫して取り組みました。

一方、学力試験対策としては、基礎の徹底と過去問演習の両立を意識しました。まずは教科書や問題集を用いて基礎事項を確実に理解し、その上で過去問に取り組むことで、出題傾向や時間配分に慣れていきました。特に意識したのは、間違えた問題の見直しです。単に書き直すだけでなく、どの段階で間違えたのか、なぜその考えに至ったのかを分析し、同じミスを繰り返さないようにしました。また、苦手分野を放置せず、重点的に何度も復習することで、得点の底上げを図りました。

受験勉強を続ける中で、思うように結果が出ず不安になることもありましたが、サッカー部で培った体力と忍耐力に何度も支えられました。長時間の練習を乗り越えてきた経験があったからこそ、勉強においても最後まで踏ん張ることができたのだと思います。疲れていても机に向かう体

力や、簡単に諦めない姿勢は、部活動で得た大きな財産であると感じています。

本番が近づくにつれて緊張も高まりましたが、これまでの努力を振り返ることで気持ちを落ち着かせました。当日は過度に焦ることなく、自分の力を出し切ることができました。合格の知らせを受けたときは、大きな達成感がありました。

これから公募推薦に挑戦する人には、日々の積み重ねを大切にしてほしいと伝えたいです。調査書と学力試験のどちらか一方だけではなく、両方を意識してバランスよく努力し、最後まで諦めずに挑戦してほしいです。

大阪工業大学

特Iコース
剣道部
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-7 高木 寧朗



私は6年間剣道部に所属し、高校2年生の時には副主将として活動しました。この春、指定校推薦により大阪工業大学工学部環境工学科に合格することができました。高校に入って進路を考える中で文理選択に迷いましたが、特に家族や先生の助言も受けて理系科目が得意だったため理系を選びました。剣道部では放課後の稽古や試合前の追い込みなど、体力的にも精神的にも厳しい日々を過ごしました。また、部活動と勉強の両立は最初の頃は非常に大変でした。しかし、小テストや課題があるため、前日の休み時間や通学時間を活用し、コツコツ努力を続けました。こうした経験を通じて、限られた時間を有効に使う計画性や、継続して努力する姿勢を身につけることができました。

進路を本格的に考え始めたのは高校3年の春です。環境問題に興味を持ち、指定校推薦という早期に合格できる制度が自分に合っていると感じました。指定校推薦では高校3年間の評定平均が重要になるため、高1から高3まで、定期テストや課題には2週間前から計画的に取り組みました。数学は問題集や教科書の問題を解き、公式の意味を理解した上で、間違えた問題を何度も復習しました。化学は授業プリントや「リードa」の問題を繰り返し解き、物理も授業ノートや問題集を活用して公式を理解しながら繰り返し解き直しました。

指定校推薦では成績だけでなく、提出物や授業態度も評価の対象になるため、計画的に取り組むことが重要です。さらに、部活動や課外活動もアピールポイントになります。面接対策としては、家族や担任の先生に協力してもらい、放課後や朝の時間を使って何度も練習しました。志望理由書も何度も書き直して整理することで、本番では落ち着いて伝えることができました。

これから進路を考える皆さんも、早めに対策を始めれば必ず間に合います。努力を続ければ成果は出ますので、挑戦を恐れず、自分の目標に向かって一歩ずつ前進してください。



関西外国語大学

特Iコース
サッカー部
堺市立金岡中学校出身

Ⅲ-9 山本 結之輔



私は特進クラスで関西外国語大学の英語キャリア学部に合格しました。私は高校2年生の冬頃からビジネス、経済学に興味を持ち、その中でもグローバルな環境で活躍できる人になりたいと思い、関西外国語大学の英語キャリア学部を目指しました。関西外国語大学は全国的に見ればそこまでレベルの高い大学ではないと思っていた私は、受験勉強を始める前までは舐めていました。しかし、最初は勉強の仕方すら分からず全く成績が上がりませんでした。そこでようやくYouTubeなどで情報を集めて勉強方法から改善していきました。主に英語を勉強していて、夏休みなどはターゲット1900やビンテージなどで基礎を完璧にして、塾でもらったテキストや市販のテキストで長文をたくさん読みました。しかし、受験生ならではの1日に何時間勉強したというとてもつまらない事を気にする時期が来ました。眠くても無理やり起きて勉強時間を稼ごうとしました。ひどい時はご飯を食べたら眠くなるからご飯を食べないということもしたことがあります。しかし、そんな事をしてもしんどいだけでほとんど身につきません。1日何時間勉強するっていう考え方より1日にどの範囲を勉強するか、復習するかという考え方の方が良いと思います。勉強時間というのは付属品でしかありません。夏休み明けの模試では頑張った分だけ偏差値は伸びるはずだと思っていました。しかし、全国の受験生も頑張っています。そのため、偏差値がガッと上がる事はほとんどないです。ここで気持ちを切らしてしまうのは良くないです。受験生は全員頑張っているから、偏差値が急に上がるということはないということを当然という気持ちで気にせず継続できる人が伸びると思います。私自身、最初はショックを受けてやる気を無くしてしまいました。しかし、家族や塾の先生に励ましてもらって継続することができました。受験は1人でやるととてもしんどいものです。塾だったり友達だったり共に頑張る人のいる環境に身を置くことがおすすめです。

受験間近になると家族にイライラすることがあると思います。しかし、勉強できるのも受験ができるのも全て家族の支えがあるからです。イライラした時にこそ感謝の気持ちを忘れずに接することでより勉強への気持ちも上がるかなと思います。受験が人生のゴールではありません。私はこれから目標に向かってさらに勉強していくので皆さんもあと一年後、二年後に笑って卒業できるように、目標を持って勉強に勤んでください。お互い頑張りましょう!!

卒業生の思いを後輩へ

今回は現大学1年に在籍する計35名の声を冊子として届けることができました。受験への不安やクラブなどで壁にぶつかりながらも、担任先生や教科担当の先生方を信じてやり切った様子がうかがえます。金次郎 SEMINAR と金次郎 STUDEO を中心に学校をフル活用し、さらにはスタディサプリを徹底的にやり込む生徒も多く、各自の目標に向かって素晴らしい結果を出してくれました。

後輩への熱い思い、アドバイスを原文をそのまま掲載しています。精一杯頑張り抜いた軌跡が在校生諸君の目標達成の一助となることを願っています。

発行にあたり、お世話になりました関係者の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

大和大学

進学コース
ラグビー部
私立報徳学園中学校出身

Ⅲ-2 山中 峻哉



『行動は早く 選択肢は広く』

私は指定校推薦で大和大学教育学部に進学しました。本当は第一志望の大学があり、それは国立の大阪教育大学でした。しかし今振り返ると、大和大学を選んだことは自分にとって良い選択だったと思っています。この体験記は、指定校推薦で進学した一人の受験生の経験として読んでほしいと思います。

私が大阪教育大学を志望した理由は三つあります。一つ目は、教師になるという夢をかなえる環境やラグビーの活動環境が自分に合っていると感じたからです。オープンキャンパスや練習会に参加し、強くそう思いました。二つ目は、これまで私立の学校に通わせてくれた親への恩返しとして、学費の負担が比較的少ない国立大学に進学したいと考えたからです。三つ目は、進学コースから国立大学に進学するという目標を達成したいという思いがあったからです。受験勉強を本格的に始めたのは高校二年生の頃でした。最初は十分とは言えない勉強でしたが、続けていくうちに勉強への抵抗がなくなり、定期テストでも良い成績を取れるようになりました。しかし、進学コースでは理系科目を履修していなかったため、数学や理科基礎、情報などはほとんど独学で勉強する必要がありました。またラグビー部に所属していたため、放課後の時間の多くは部活動に費やしていました。高校三年生になると危機感を持ち、勉強量と質の両方を見直しました。毎朝早く登校して授業前に勉強し、休み時間には英単語などの暗記を行いました。また、問題を理解度によって分類し復習するなど、効率的な勉強方法も意識しました。しかし模試の成績は思うように伸びず、進路について悩むようになりました。最終的に、共通テスト模試の結果を一つの区切りとし、その結果を踏まえて指定校推薦を考えることにしました。指定校の中には私立第一志望であった大和大学があり、教育学部の充実した環境や教員採用試験の高い合格率に魅力を感じ、進学を決めました。

この経験を通して、もっと早くから勉強に取り組んでいればよかったと感じています。また、英検などの資格は大学受験において大きな強みになると実感しました。一方で、受験勉強に真剣に取り組んだ経験は決して無駄ではなく、将来の教員採用試験にも生かせると思っています。私が伝えたいことは、勉強は早く始めること、定期テストを大切にしながら進路の選択肢を広げること、そして資格取得など自分の強みを作ることです。行動することは今からでも遅くありません。皆さんが希望する進路に進めることを願っています。

進路指導部長 森田 悟

令和8年度入試 報徳学園高等学校 合格状況

卒業生 350名 (進学文系 208名、特I理系 54名、特I文系 62名、特II 26名)

2026/4/13 現在 延べ数

国公立大学	合格総数	現役	浪人
大阪大学	2	1	1
北海道大学	1	1	0
北見工業大学	1	1	0
東京農工大学	1	1	0
京都工芸繊維大学	1	1	0
大阪教育大学	2	2	0
広島大学	4	3	1
高知大学	2	2	0
徳島大学	4	3	1
釧路公立大学	1	1	0
青森公立大学	1	1	0
秋田県立大学	1	1	0
兵庫県立大学	3	3	0
下関市立大学	1	1	0
防衛大学校(2次)	10	10	0
防衛医大看護(2次)	1	1	0
防衛大学校(1次筆記)	34	34	0
防衛大学校(1次筆記)	1	1	0

関関同立産近甲龍	合格総数	現役	浪人
関西大学	30	30	0
関西学院大学	33	28	5
同志社大学	12	8	4
立命館大学	11	10	1
京都産業大学	28	26	2
近畿大学	90	85	5
甲南大学	20	16	4
龍谷大学	14	14	0

摂神追桃外外経工	合格総数	現役	浪人
追手門学院大学	50	44	6
摂南大学	42	42	0
桃山学院大学	2	2	0
神戸学院大学	39	39	0
大阪経済大学	9	9	0
大阪工業大学	10	10	0
関西外国語大学	17	17	0
京都外国語大学	5	4	1

早慶MARCH日東駒専	合格総数	現役	浪人
早稲田大学	2	1	1
慶應義塾大学	1	0	1
東京理科大学	2	2	0
明治大学	7	4	3
青山学院大学	2	1	1
立教大学	3	3	0
中央大学	2	2	0
法政大学	1	1	0
日本大学	3	2	1

医歯薬	合格総数	現役	浪人
岩手医科大学(医)	1	0	1
近畿大学(医)	1	0	1
神奈川歯科大学(歯)	1	0	1
岡山理科大学(獣医)	1	0	1

私大	合格総数	現役	浪人
酪農学園大学	2	2	0
東海大学	1	1	0
東京農業大学	1	1	0
日本体育大学	1	1	0
武蔵大学	1	1	0
明治学院大学	1	1	0
大東文化大学	1	1	0
亜細亜大学	1	1	0
帝京大学	1	1	0
国士舘大学	2	2	0
桜美林大学	1	0	1
昭和医科大学	1	0	1
城西大学	1	0	1
上武大学	2	2	0
中央学院大学	1	1	0
神奈川工科大学	2	1	1
中京大学	1	1	0
朝日大学	2	2	0
びわこ成蹊スポーツ大学	2	2	0
佛教大学	2	2	0
京都精華大学	1	1	0
京都医療科学大学	1	1	0
明治国際医療大学	1	1	0
藍野大学	1	1	0
大阪音楽大学	1	0	1
大阪学院大学	12	12	0
大阪芸術大学	1	1	0
大阪国際工科大学	1	1	0
大阪国際大学	1	1	0
大阪産業大学	23	22	1
大阪商業大学	1	1	0
大阪人間科学大学	3	3	0
大阪成蹊大学	2	2	0
大阪体育大学	8	8	0
大阪電気通信大学	3	3	0
関西福祉科学大学	2	2	0
滋慶医療科学大学	2	2	0
阪南大学	6	6	0
大和大学	6	5	1
天理大学	3	3	0
大手前大学	7	7	0
神戸芸術工科大学	1	0	1
神戸国際大学	1	1	0
神戸松蔭大学	2	2	0
神戸親和大学	4	4	0
宝塚医療大学	2	2	0
兵庫大学	1	1	0
流通科学大学	2	2	0
環太平洋大学	1	1	0
吉備国際大学	1	1	0
岡山理科大学	3	3	0
広島国際大学	2	2	0
立命館アジア太平洋大学	1	1	0
九州共立大学	1	1	0
西日本工業大学	1	1	0

大学名	合格総数	現役	浪人
国公立(大学校1次筆記含)	60	57	3
国公立+大学校(最終)	36	33	3
早慶MARCH	20	13	5
関関同立	86	76	10
産近甲龍	152	141	11
摂神追桃	133	127	6
外外経工	41	40	1
医歯薬獣医	4	0	4
大学	644	594	50
短大	2	2	0
専門学校	12	10	2
就職	7	6	0

短大	合格総数	現役	浪人
大阪国際短大	1	1	0
近畿大学短期学部	1	1	0

※海外大学	合格総数	現役	浪人
国立高雄大学(台湾)	1	1	0
文藻外語大学(台湾)	1	1	0
淡江大学(台湾)	1	1	0
Lane Community College(アメリカ)	1	1	0
Orange Coast College(アメリカ)	1	1	0

※その他、9月入学までに受験する大学あり(台湾、AUS)

専門学校	合格総数	現役	浪人
尼崎健康医療財団看護専門学校	1	0	1
尼崎理容美容専門学校	2	2	0
大阪ミュージックメディア専門学校	1	0	1
大阪法律公務員専門学校	1	1	0
大原簿記法律専門学校 梅田校	1	1	0
東洋医療専門学校	1	1	0
トヨタ神戸自動車大学校	1	1	0
平成医療学園専門学校	1	1	0
麗正社国際医療スポーツ専門学校	2	2	0
H A L 大阪	1	1	0

就職	合格総数	現役	浪人
刑務官	1	1	0
大阪タニウムテクノロジーズ	1	1	0
きんでん	2	2	0
青暁建設株式会社	1	1	0
藤森建設株式会社	1	1	0
その他	1	1	0



目指せ第一志望! 拘れ! 粘れ! やり抜け!

最後までやり抜けば年末年始から成績が上がる。
現役急上昇カーブを描け!



報徳学園 中学校 高等学校

- II進コース
- I進コース
- 選抜特進コース
- 特進コース
- 進学コース

〒663-8003 西宮市上大市5丁目28-19 TEL.0798-51-3021(代) FAX.0798-53-6332

✉: nyushi@hotoku.ac.jp www.hotoku.ac.jp